

聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院だより

いこいの森

患者さまを中心として、質の高いかつ安全な医療を提供します

「西部病院の新しい人間ドック」

健康管理部長 駒瀬裕子(呼吸器内科部長)



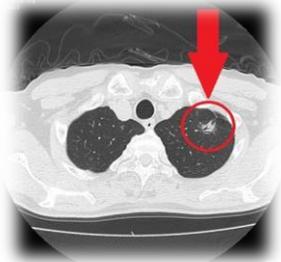
昨今、医療は治療から予防へと方向を変えています。元気に長生きするためには、予防がとても重要です。健康管理部ではそのお手伝いをします。

1) 予防接種

インフルエンザ等、各種予防接種を行っています。中でも、肺炎の予防接種では、最も重症になりやすい『肺炎球菌』による感染症を予防します。健康管理部では身障者手帳をお持ちの患者様と、定期接種の年齢ではないが予防しておきたい方を対象に、接種日を設けています。

2) 人間ドック

少し気軽に受けられるように、1 日ドックとしました。一般的なドックに加えて、オプションで脳ドック、肺ドックを追加できます。一般のコースでは総合的な健康の指標となるように、きめ細かな指導を行います。食事も皆さんの献立の参考になるように栄養部からメッセージをつけています。脳ドックの目的は、脳梗塞、動脈硬化、未破裂動脈瘤、頸椎ヘルニア等の早期発見から治療につなげることです。肺ドックは、喫煙によって起こる肺がん、慢性閉塞性肺疾患（COPD）など重大な病気を早期に診断します。非喫煙者の方でも肺がんのリスクはあり、胸部レントゲンで見つけることのできない肺がんを早期に診断し、完治につなげることを目標としています。CT による被曝線量を減らすように工夫をしていますので安心してお受けください。



お問い合わせは、健康管理部受付にお願いいたします。



助産師外来のお知らせ

当院では、助産師外来を行っています。当院で分娩予定の方で、合併症がない妊婦さんの健診を助産師が行います。通常の妊婦健診よりも ゆったりと時間をとって、ご家族と一緒に診察室に入



っていただき、超音波画像をご覧いただいたり、妊婦さんにご家族のご心配や疑問について、助産師が丁寧にお答えしています。医師と協力しながら診療を行いますので、必要な時は医師の診察を受けられます。詳しくは、産婦人科外来、院内のお知らせ、ホームページ等にてご確認ください。



エネルギーサービス事業の 竣工祝福式を実施しました

2月25日(木)、本学(聖マリアンナ医科大学)の理事長、理事や当院病院長、副院長のほか、事業に携わった関係業者の皆さまなど、総勢50名余りが出席される中、エネルギーサービス事業の竣工祝福式が、本学の小田神父を司祭として執り行われました。

当院が開院以来使用してきたボイラーを撤去して、新たにガスコージェネレーションシステムという、ガスを燃料にして発電を行い、その熱を冷暖房や蒸気として利用するというとても効率的なシステムを導入しました。停電をした場合でも運転が可能で、都市ガスと灯油の切り替えもできる、という利点があります。特に、大規模災害発生時には、拠点病院となる当院がその役割を果たすのに必要な性能を備えた機器更新がなされています。



シリーズ 部署 #06 紹介 透析療法部

腎臓の障害には様々な原因がありますが、最近では、腎炎に加えて、糖尿病や高血圧といった生活習慣病が増加しています。腎臓の機能低下が慢性的(慢性腎不全)になると元に戻すことはできず、進行すると尿毒症と言われる状態になり、放っておくと生命の危機に陥ります。これに対する治療手段として最も一般的に行われているのが「透析療法」(血液透析と腹膜透析)です。日本国内では、透析患者の総数は実に30万人を超えています。透析療法は今や決して珍しいことではありません。



当院透析療法部には、現在13床のベッドがあり、月曜日～土曜日、午前、午後の2クルールの透析を行っております。臨床工学技師、看護師、医師、事務、助手の各々が協力して透析療法に従事しています。外来透析は、各クール約8名ずつ(火・木・土の午後は現時点で行っておりません)、それ以外は、透析導入や、維持透析中の合併症の患者様の入院透析を行っています。維持透析以外にも急性腎障害、薬物中毒、多臓器不全、血管炎、自己免疫性疾患などに対して、他科との連携のもとに種々の血液浄化療法を行っています。また最近では、腹膜透析患者の数も増えつつあり、現在十数名の患者様が通院されております。腹膜透析は、血液透析とは違い、一生できるわけではない(約5年で血液透析に移行する必要あり)ですが、週3回通院しなければならない血液透析とは違い、自宅でご自身の腹膜を使ってできる透析法で、働き盛りの患者様にはお勧めの治療です。



(写真の掲載については、ご本人のご了解を得ています。)

透析は一旦開始すると、一生続けなくてはならない治療です。そのようなストレスを抱えた患者様に対し、我々スタッフは安全第一で、いつも笑顔を絶やさず、患者様の声に耳を傾け、少しでもリラックスして透析が行える様日々心がけています。

透析療法部副部長 白井小百合
(腎臓・高血圧内科 副部長)

活躍しています！『脳卒中リハビリテーション看護認定看護師』

脳卒中には大きく分けて、脳梗塞(こうそく)、脳出血、くも膜下出血の3つがあります。麻痺や失語などの神経症状も様々です。当院にも、生命の危機にあり懸命に闘病中であつたり、ごく軽度の症状で外来を受診され診断を受けて治療を受けていたりなど、多くの患者さまがICU・HCU・一般病棟に入院されています。特に当院では最先端の脳外科手術や脳血管内治療が積極的に行われており、それらを受けた患者さまには、再びその人らしい生活を取り戻すための闘いが始まっています。



しかし、脳卒中の急性期は症状の悪化しやすい状態にあります。24時間患者さまと接する私たち看護師は、異常を早期に発見し、後遺症を最小限に留めることを目指すのと同時に、少しでも発症前に近い日常生活に戻るための訓練を、医師やリハビリテーション部の療法士と相談しながら、安全に行えるよう努力しています。

西部病院の救命救急センターには、2名の脳卒中リハビリテーション看護認定看護師がいます。それぞれ違った背景を持つ脳卒中患者さまの「これから」を、発症早期から考えてスタッフ全員で看護を提供し、患者さまの回復を実感できていることが私たちの喜びです。



左:筆者

脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
篠田美香

患者さまのご意見から No.09

・採血待ちの時間が長い。1時間待つこともある。なんとかならないか。

当院からの回答

大変お待たせをして申し訳ございません。

このたび、4月4日より、診察前の採血については、午前8時に業務を開始することと致しました。検査結果を早く担当医へ伝え、その日の診療に生かすとともに患者さまの待ち時間の短縮に努めたいと思います。

なお、他部署(救命救急センターや入院病棟を除く)の開始時間は午前8時30分、外来診療は午前9時です。

また、当日の診察がなく「採血のみ」の方は、待ち時間が比較的短い
午前11時～午後3時にご利用いただけると幸いです。

どうぞご協力のほど、よろしくお願いいたします。



Seibu Time ⑫『二ツ橋』

瀬谷区には「二ツ橋」という地名がありますが、この由来は、徳川家康が詠んだ和歌（慶長 18 年(1613 年)）『しみじみと清き流れの清水川かけ渡したる二つ橋かな』ではないか、とされています(写真は、瀬谷区役所が平成 10 年に建立した石碑)。

また、相鉄線の前身である神中鉄道が開通した 1926 年(大正 15 年)には、三ツ境駅と瀬谷駅の間に「二ツ橋駅(ふたつばしえき)」がありました。駅は中原街道沿いにあり、二ツ橋に行政の中心があったため三ツ境駅より栄えていた、とのこと(現在でも、瀬谷区役所、瀬谷警察署の住所は、「二ツ橋町」です)。また、同じく二ツ橋町には、1725 年(享保 10 年)に伊勢神宮よりご神体を受けた「二ツ橋神明社」があります。

当院のそばにある中原街道は、その昔、徳川家康が江戸へ入るときに利用したと伝えられています。そう考えると、歴史が身近に感じられるような気がします。

(瀬谷区ホームページ、フリー百科事典「ウィキペディア」より一部転載)



総合相談部からのお知らせ

総合相談部では、入院中、または外来診療中の患者さま、ご家族のご相談を承っています。ご相談内容については、秘密を守ります。どうぞ、お気軽にご相談下さい(ソーシャルワーク係、ホームケア係は、事前にご予約をお願いします)。内容は、以下の通りです。

【**ソーシャルワーク係**】利用できる社会保障・サービス・病院や施設のことを相談したい、医療費や生活費が心配、転院の相談 など。

【**ホームケア係(看護相談など)**】介護の仕方が分からない。訪問看護を受けたい など。

【**地域医療連携係**】近くの医院やクリニックを探したい、紹介状について知りたい など。

【**総合案内**】受診の手続きを知りたい、院内のことについて知りたい など。

【**患者さま相談窓口**】ご意見、ご要望があればお聞かせ下さい。

総合相談部の場所：

- ・ソーシャルワーク係、ホームケア係(1階正面玄関横)
- ・地域医療連携係、患者さま相談窓口(1階産婦人科外来横)
- ・総合案内(1階正面玄関)



当院は原則として「**初診紹介制**」となっています。初めて受診されるときは、地域医療機関(かかりつけ医等)からの「**紹介状**」をお持ちください。初診時に予約制を実施している科もあります。詳しくは、院内のチラシ、ホームページまたは、総合案内、地域医療連携係へご確認下さい。

【当院の休診日】 日曜日、国民の祝日、第 1・3 土曜日、開学記念日(10 月第 2 土曜日)、年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)

発行：聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 地域広報小委員会
〒241-0811 横浜市旭区矢指町 1197-1 TEL：045-366-1111(代)